

広島国道事務所では、平成18年8月25日に広島市安芸区で発生した広島県営水道の送水トンネル崩落事故の影響で断水した呉市内の地域で、8月28日から9月1日まで給水支援活動を行いました。散水車は通常、夏の雨の少ない時期に植樹への灌水を行ったり、冬の除雪作業を行っている車両ですが、今回は緊急に飲料水を供給する車両として活躍しました。



三次、福山、浜田から応援の給水車が到着しました。

散水車



呉国道出張所は8月29日に呉市と打ち合わせを行い、呉国道出張所では天応、広白石、川尻、音戸に散水車を配置して支援活動を行うことになりました。



緊急出動!



川尻

江田島

給水支援活動

広白石



江田島市へ7台、天応へ1台、広白石へ1台、川尻町へ2台、計11台の散水車が作業を行いました。断水地域の方々はそれぞれポリタンクなどを手に集まってこられ、飲料水を給水後、重そうに持ち帰っていました。

